



2005年度 教育行財政学

2005.11.29

学校の管理と経営 改革と理論(1)

担当: 勝野正章

講義の内容

- 0. 学校管理と学校経営 定義
- 1. 教育改革と公立学校
 - 1-1. 教育改革の目指す学校像
 - 1-2. 公立学校改革を阻む原因
 - 1-3. 学校の自主性・自律性
- 2. 学校経営とリーダーシップ
 - 2-1. 校長の権限・リーダーシップ
 - 2-2. リーダーシップの理論
 - 2-3. 権力・権限・影響力
 - 2-4. リーダーシップのスタイル

0. 学校管理と学校経営 定義

- 法的に

学校管理＝権限ある者が学校を維持・運営して働く

{ 教育委員会の学校管理

{ 学校の内部管理(≒学校経営、学校運営)

- 実態的に

学校経営＝人的・物的・金銭的資源を調達・活用して、組織的に学校教育目標を実現して働く

1-1. 教育改革の目指す学校像

「公立学校が地域の教育機関として、家庭や地域の要請に応じ、できる限り各学校の判断によって自主的・自律的に特色ある学校教育活動を展開できるようにする」 中央教育審議会 答申「今後の地方教育行政の在り方について」(1998.9)より

Discussion

- なぜ、このような学校が求められるのか
- 何が、改革を阻む原因なのか
- どうすれば、このような学校になるのか

1-2. 公立学校改革を阻む原因

- 教育委員会による必要以上の関与が学校の主体的活動を制約している
- 校長を補佐する学校の運営体制が確立されていない
- 校長の在職期間が短いために、自らの教育方針に基づく学校運営ができず、リーダーシップを発揮できていない
- 資質と意欲を持った人材が教頭、校長になっていない

1-2. 公立学校改革を阻む原因(つづき)

- 公立学校全体に横並び意識が強く、特色ある学校づくりができない
- 学校運営に関する責任の所在が不明確
- 学校が地域の機関であるという意識が弱く、住民から信頼されていない
- 学校が外部に対して閉鎖的で、家庭や地域との連携が十分ではない

1-3. 学校の自主性・自律性

キーワード

- 校長のリーダーシップの確立
- 学校運営組織の改革
- 学校の説明責任（アカウンタビリティ）
- 開かれた学校
 - 学校評議員、地域運営学校
- 特色ある学校
- 学校選択制度

2-1. 校長の権限・リーダーシップ

「教育改革はいまスピードと成果をみせないと、いい学校って言われな。開かれているからスピードが必要なんだね。こんなにひどい学校だったのが、こんなによくなっているというスピードを出さないと・・・」

Discussion

公立学校改革は、校長のリーダーシップにどのような影響を及ぼしているか。

2-2. リーダーシップの理論

- 特性理論 (Traits Theory)
- 状況適合理論 (Contextual Theory)
- 分散的リーダーシップ (distributed leadership)
- 専制的 (autocratic) vs 民主的 (democratic)
- 課業志向 (task oriented) vs 人間志向 (human oriented)

2-3. 権力・権限・影響力

- 権力 (power)

権力の源泉：地位、人格、専門的知識・技能

権限 (authority) 公式な権力

法的・組織構造的な地位

影響力 (influence) 非公式な権力

人格、専門的知識・技能

2-4. リーダーシップのスタイル

- 教授的 (instructional) リーダーシップ
児童・生徒の学習
- 変容的 (transformational) リーダーシップ
組織構成員の能力向上
- 倫理的 (moral) リーダーシップ
- 参加的 (participative) リーダーシップ
- 経営的 (managerial) リーダーシップ
目標、成果、アカウンタビリティ